

函館・道南政界・経済界

こんなにもある！

新旧交代！一時代の 変わり目・世代交代へ

函館地方はこれから1～2年、政界及び経済界で
新旧交代の時を迎える運びになるうとしている。

21衆院選、函館・道南の北海道8区では立憲民
主の逢坂誠二氏が5回目の当選を勝ち取り、自民党
の前田一男氏は連続3回敗れ去った。2回連続、道
ブロック比例代表での復活もならず、道8区はさら
にこの先与党の国会議員不在が確定し、前田氏の次
はもうないことは決定的で、次期解散・衆院選の自

民党道8区支部長は新旧交代にならざるを得ない。
地元共産党との関係が良好な逢坂氏に勝てる候補選
びが待ったなしだが後任選考は容易でない。

年が変われば1年余後、23統一地方選が待つて
いる。ここでは函館市長選がどうなるか。工藤寿樹
市長（72歳）の4選出馬もあり得るかも知れないが、
工藤3選以来の昨今の市政等の様相を総合的に直視
すれば、工藤4選出馬はないと見るのが常識的で、

工藤氏引退―新人出馬の交代市長選になること必至の情勢にある。好き嫌いに関係なく、函館を良くし、将来展望させるポスト工藤でなければならない。

また23統一地方選では、道議会選挙函館市で長年自民党道議を務めてきている川尻秀之氏（8期目、76歳）が昨今体調が思わしくなく、健康上と年齢的なことから勇退が確実視されるに及んでこよう。

以上まず3つの新旧交代。加えて函館圏の一端を担う七飯町で年明け春3月に町長選挙が行われる。

ここでは現町長の中宮安一氏が4期目限りでの引退をすでに表明し、中宮町長は「次は30代、40代の若い人が望ましい」と議会で言及。これを受けてかどうかは別にして、38歳の若手前七飯町議の出馬表明を皮切りに、58歳の前町民生部長、さらに48歳の前町土木課長と20歳、10歳違いが相次いで手を上げた。渡島管内の町では首長の世代交代・若返りが進んでいる中でどうなるか。

そして、函館の経済界、新しい年・2022年は

10月に函館商工会議所の議員改選期となり、現会頭2期目の久保俊幸氏の去就が注視される。3期目へ続投もあり得るかとみられてきたが、世の中、先は分らないもので、3〜4カ月程前になるうか、健康問題が起り、東京で脳の手術を受けた。

運良く手術はうまく行ったようで、元気を取り戻し、先般の衆院選道8区では地元経済界として自民・前田氏推薦の先頭に立ち、選対本部長を担うほどであった。

今後の体調如何だろうが、続投に黄色信号が灯ったことは確かで、どうなるか注視される。

こうみると、地域の実情極めて厳しい中、政界、経済界合わせて5つもの新旧交代が取り沙汰されに及び、人材難の中にあって、世代交代を含む新旧交代、一時代の大きな変わり目を迎える。

（本誌主幹・河野玄）

**地域の実情ますます極めて厳しい中、
好き嫌いに全く関係なく、切望される
「函館の展望」示せる有能な人材の登場！**

23 函館市長選 新旧交代濃厚か

出馬取り沙汰の大泉潤元秘書課長・保健福祉部長 年明け3月末で市退職し本格準備入りか？

大泉氏／観光部長、保健福祉部長を歴任、困難な問題に対応し進境著しく！

「一体、函館市長（工藤寿樹氏）は何をやっているの！」

今や、こんな声が圧倒的に多い。

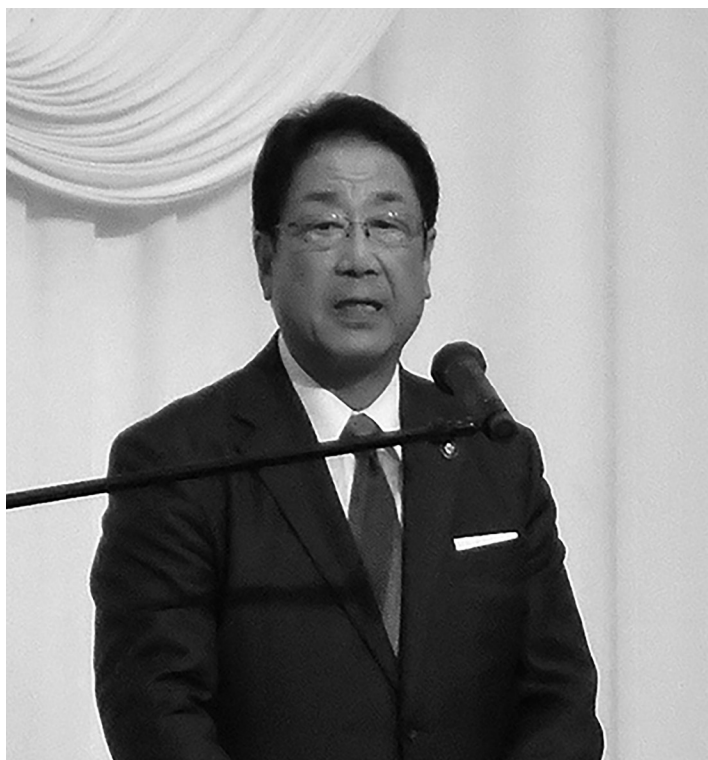
10月は衆院の解散・総選挙一色となり、問題のコロナはいつまた再発するかも知れないものの、一応10月下旬以降11月に入って収まった格好になった。

しかし、函館の街は死んだような状態が続く、街の景気は全然よくなる兆しが見えず、死に体同然に陥っている中、市民の間ではやるせないような気持ちが続いている。活気が全然ない。今に始まったことではないが、ますます閉塞感が強まっている。

る。

昨年初めからこの1年10カ月

もの間「コロナ・コロナ」で明け暮れし、この間、函館は停滞、



去就注目される工藤寿樹函館市長

「ワクチンだ」やれ「支援金だ」「何だ」だけで、市政は全く寝ているような有り様に終始してきているとの指摘だ。

はつきり言って工藤市長は3年近く前の3選以来、「仕事らしい仕事は何もやっていないのではないか」。この声は次第に広範囲になっ

ている。市議会も市議会だが、ある議関係者は「もう全然やる気がないのではないか」と口を揃える。

「函館はますます衰退の一途をたどっている。展望がなく、マチのトップが将来に向かってどうするかを示すことが出来ないのだ。」

本誌は早3年近くになる前回の2019統一地方選を総括するに当たって、各級選挙にわたって全くぱっとしない候補者・当選者らの選挙公約、訴えを直視するに、「空白の4年間は始まる」と断じた。現実にはコロナのパンデミックも勃発し、



観光部長―保健福祉部長を歴任し、
たくましくなった大泉潤氏・55歳

それどころでなくなる一方と
なったが、全くもってその通り
になっている。函館をどうする
のか官民、各界にわたってマチ
のトップが語ることが出来ず、
示せず、その体たらくぶりには
言葉がない。

「工藤さんはまたやるの（4
選出馬）」工藤市政の話になる
と決まって聞かれる。

本誌・小生の答えはこうだ。

「辞めるでしょう」。「なぜなら
3選後ほとんど実のあることは
何もやっていないに等しく、一
体さらに出馬して何をすると言
うの?」「最近人気もないし、

よほどの対立候補でない限り、
出ても負けるのでないですか」
「4選出馬などしたら、ハコ物
を沢山やって整備した実績が
ぶっ飛んでしまうのではないか」
「本人も分かっているでしょう」
3期目はともかく2期8年余の
大きな実績が台無しになる」
函館の現状、有り様からして、
3期12年もやれば十分ではない
かとの声は少なくない。

だが、一方では観光誘致等々
に取り組んだ実績から、「工藤
氏が4選出馬する意向になれば
これを支持、推薦する」（地元
経済界首脳）との考えも根強く

ある。後援会もありだ。

◆ ◆ ◆

工藤氏のことはさておいて、
年明け、春になれば23統一地
方選まで1年となる。例によつ
て統一地方選前半は道知事選と
セツトの道議選、後半には函館
市長選と函館市議選がある。ほ
か、道南では一部町長選・町議
選、北斗市では市議選もある。
4年間はあつという間であり、
実に早い。

この中で、次の函館市長選は
新旧交代の選挙になるかどうか
が最大の焦点になり、この場合、
誰がポスト工藤を目指し立候補
してくるか。

その第一は、本誌2021年
春季号で取り上げたが、工藤市
長のもとで秘書課長を務め、そ
の後、保健福祉部次長を経て一
気に部長職に昇格、陽の当たる
観光部長となり、2019年5
月には保健福祉部長に横滑り
し現在に至っている大泉潤氏
（55）の擁立が取り沙汰されて
きている。

大泉氏は工藤氏同様の早稲田
大卒、元秘書課長であったこと
などで知られるが、それと共に

支
援
メ
ニ
ュー

- ◇専門家による無料経営相談（毎月第2金曜日）
- ◇専門家の長期派遣（経営課題を根本から解決）
- ◇人材育成（中小企業大学校 旭川校）

- ◇海外展開（現地視察、商談、計画のブラッシュアップなど）
- ◇小規模企業共済（経営者の退職金制度）
- ◇経営セーフティ共済（連鎖倒産防止制度）

Be a Great Small.
中小機構

独立行政法人

中小企業基盤整備機構 北海道本部 函館オフィス

〒040-0063 函館市若松町7-15 函館商工会議所ビル2階

TEL(0138)24-6600 FAX(0138)24-6611 担当／成澤

札幌から今や全国区の超有名タレント・俳優の大泉洋さんの実兄としてもよく知られる。2人兄弟で、大泉潤氏は札幌北高1早稲田大法学部卒。大学・学部共に工藤市長の後輩。

この大泉氏について周りは、「来春（2022年）3月末を持って市を退職し、1年後の市長選の準備に入る」（市議会関係者）といわれている。

十分に準備、事前活動を積極的に行い、幅広い支持を得て本番入りという方針。ただ周りは3月末退職は調整中という。

保健福祉部長として当初はモタモタしていた感もあったが、工藤市長の下、市保健所所長とともに、新型コロナ対策に全力を上げ、ワクチン接種などをやり遂げ、一定の評価もされている。工藤市長が「結構よくやっている」と言っている「云々の話も。近頃は進境著しく、たくましさも。人柄は抜群だ。

大泉氏は、「函館日吉コミュニケーションエリア」（コンテ日吉）事業で、これを推進する事業者に選ばれた医療法人の理事長が開業と同時にどんずらし、果て

きらめく波の光に
永遠の愛を誓う

オーシャンビュー
ウェディング



出会いと思い出をつむぐ、異国リゾート。
イマジン ホテル & リゾート 函館



〒042-0932 函館市湯川町3丁目1-17

ご予約のお問い合わせ

TEL 0138-57-9161

FAX 0138-57-9169

www.imgnjp.com

は破綻・倒産したいいわゆる「コンテ日吉」騒動で担当部長として収拾を任され、この問題も何とかなんとか格好をつけ、今日に至っている。

ところで、函館市長選に対して、今回の21衆院選道8区で、小選挙区3連敗、比例復活も2回連続ならず、完全敗北した自民の前田一男氏に関し、時として「市長にどうだ」の声が出たりしている。

国政選挙に負けて市長選出馬や知事選で敗退しながらも市長や町長になったのケースは結構ないでもない。

前田氏についても、函館に戻り、最初に無所属で立候補した衆院選道8区で敗北（3位）し、飯を食うためもあって、出生地の松前町長選に誘われ、無競争当選した。2回目も無投票当選となり、2期8年間務めた上で道8区自民党公認候補の指名を受け、民主党政権がガタガタのもどで民主現職の逢坂誠二氏（ほか候補全4人立候補）らを退け初当選した。2期目は小選挙区で敗れたが比例で救われた。

地域の皆様の明るい暮らしを応援いたします。



道南 うみ街信用金庫

理事長 藤谷 直久

<https://www.d-umishin.co.jp/>

本店 檜山郡江差町字本町132番地

本部 函館市上新川町1番25号
0138-62-1250

年齢はまだ55歳。前田氏本人は今後さらに出馬したい意向のようだが、もう無理というもので、行き場がない。このため「道議にどうだ」とかの話とともに、市長選の話だが、衆院選函館市では逢坂氏に全く歯が立たず、無党派層からの支持も逢坂氏の半分ほどでダメだったこともあり、また前田氏はこれまでの衆院選の戦いからして「自らの政策に極めて乏しく、自民党がこう言っているからこうだ」（保

守関係者）の追従スタイル。町長2期8年にしても成果らしい成果はないに等しい。ポリシーがないことが小選挙区3連敗の要因にもなった。市長に誰でもいいことにはならない。ましてや前田氏擁立となると、立憲民主・連合陣営、加えて共産党が対立候補を出してること必然。競い合うことは大いに結構だが、ポリシーに欠け、政策発想も大いに疑問であることなどからして、函館市民が受

け入れるか甚だ疑問だろう。函館市を取り巻く状況は非常に厳しい。ますます困難になっている。人口減、少子高齢化が加速している。地域経済は衰退の一途にある。活気がない。観光産業と言っても外来業者の大型ホテル建設が目立っているだけで、「1日泊観光」「修学旅行観光」に止まっている。函館市は中核都市として生き残れるかどうか。岐路に立っている。ポスト工藤の舵取り役、

1年余後の市長選は歴史的に極めて重要な意味を持つていよう。展望、ビジョンがなければこのマチは再生はもとより、維持できず終わってしまう。先送り・先送り、人口減少は仕方がない、等々の市政では済まされない。好きとか嫌いは全く関係なく、時代を読み取り、新発想できる有能な人材を選び出せるかどうかにか全てがかかっているのではない

次期衆院選道8区自民党新しい候補待ったなし。小選挙区3連敗・比例2連敗の前田氏ではもう完全に無理・交代！保守陣営首脳「女性でいいのがある。男でもいいのがある」本当???特に女性なら切り札にも…

先の衆院選で自民・前田一男氏は10万1千票を得票し、1万1千票まで迫ったことで一

定の善戦はしたものの、3連敗、比例復活も2連敗で、道8区は新旧交代になる。前田氏が「ま

たもやりたい、道8区支部長でいたい」などと「子どもみたいな」ことを言っていたにもかかわらず

らない。かつて、道8区支部長として負け続けたにもかかわらず最後



今回が最後と念書かわしたようだが
「またやりたい」としている様子の
前田一男元衆院議員

までごね続け、無所属で出馬・落選し、混乱を招いた佐藤健治氏(佐藤孝行元衆院議員の次男)に懲りている自民・保守陣営は、前田氏に対して「今回負けたら今後一切政治に関わらない」という念書を取った上で支部長就任を認め、擁立した。それなのに「まだやりたい」などもつてのほかだろう。

冷静に見て、前田氏では何回

独自の政策皆無の3連敗前田氏を「函館市長にどうだ」の話あるが、むしろ道庁に腰掛けていたことから「道議がいい」の意見が」。

やつても逢坂氏には勝てない。

逢坂と地元道南共産党との関係、間合いは道内で一番うまくいっているとし、この「共闘」の骨格が揺るがない限り、前田氏では勝てない、無理だ。前田氏本人のためにもならない。

なんとすれば、前田氏は道8区の保守・自民党の候補としては「資質」に問題があり、政策に弱く、訴える力、演説もおも

しろくないし、内容相まって不十分であることから、政党支持がない無党派層に弱いこと等々、決定的な弱点がある。無党派層の支持が若い人を中心に約2割で、良くて3割ほどしかない。世論調査でもろに出る。これに対して逢坂氏は中高年齢層中心で前田氏の倍以上もある。函館地域は高齢化顕著な「年寄りのマチ」である。

他に例を上げるに、後援会名簿の人数などあまりにも少ないとされ(落選後4年間最低でも確保しておかなければならない人数の3分の1であったという)、個人訪問などに関しても、逢坂氏以上にやるのが当然なのに、名簿に載っている前田後援会員に対して訪れたのは逢坂氏と半分半分とか、ピンポイントで訪れたのは逢坂氏が前田氏の2倍であったということすら言われている。これから完全落選中の4年間、一体何をやっていったのかということが選対中枢から指摘されている。

厳しい言い方かもしれないが政治家としても「魅力がない」。ソフトな人柄だが、政治家向き



LUXEビル 4F で素敵な夜を一。

MADAM KEI

函館市松風町5-5 LUXEビル4F
(TEL) 0138-23-0110
(TEL) 0138-22-2525
川村株式会社
代表取締役 川村隆夫
スタッフ一同

ではないとも言える。

万万が一、次の3年後（常識的には次の衆院解散・総選挙は）自民党が前田氏を擁立したとしてもまず大惨敗することは目に見えている。逢坂氏は2万5千票あった前田氏との差

を1万1千票まで迫られたことで、次の6選に臨む選挙は総力を上げ、得票差は今回よりも拡大するとみるのが自然だ。逢坂氏は今回を総括し、突き放すに違いない。前田氏出馬は逢坂氏にとって大歓迎だろう。

状況が続き、最悪だ。ときに、自民・保守陣営の首脳の中で、次期衆院選に臨む道8区の新支部長に関して、「いいのがある。女性でこれというのがあるし、男でもいるよ」「問題は本人がやるというかどうか」

よって、道8区は新旧交代にならざるを得ない。3連敗の前田氏擁立などやったら、全国的に笑いものになる。新旧交代、これをしっかりやることなくして、いくら「政権与党の国会議

員を」と自民・保守層、陣営が叫んでも議席を奪還できない。「悲しくなる」ばかりだろうし、自民党政権下、函館・道南の行く末、将来はある意味でもやもや、曇天（どんてん）の

と話す向きがある。非常に興味深い話であり、今後どうなってくるか大いに注視されよう。特に女性候補なら議席奪還の切り札になり得るかも。

与野党問わずすでに世代交代期に来ている函館の道議

国会議員不在で「地元政権与党のど真ん中」できた

川尻秀之氏、体調優れず・高齢もあって次期不出馬・勇退必至

次は川尻77、平出74、佐々木72、高橋69、志賀谷69／若手出馬の機会到来なのだがー。

年が新しく変われば1年後、2022年統一地方選では道議選函館市（定数5）にも関心が持たれる。

函館市選出の道議は与野党問わず、高齢化し、世代交代の時期にきている。がしかし、実態はこれが止まったままで、旧態

依然のメンバーできている。歴史を振り返ってもこんなことはなかった。世代交代をズバリ指摘せざるを得ない。

当選回数、年齢順から見てもよう。前回の2019年選挙結果時点で、与党自民党では川尻秀之氏が73歳で8回当選、野党

はなびわいん

年 輪

株式会社 はなびわいん

北海道亀田郡七飯町字上藤城11番地

☎代表(0138)65-8115

の立憲民主党で平出陽子氏も川尻氏同様8回当選、70歳と凄い。8回当選はこれまでの道議選函館市では例がない。

川尻氏の場合、衆院道8区自民党が一時期前田一男が敵失（民主党政権の体たらく、政権陥落）などあって連任く5年ほど与党国会議員を務めただけで、小選挙区制になって以来、野党に負け続け、今回も破れ、このため国会議員不在となり、道議当選回数などからして川尻氏が函館・道南自民党の事実上のトップを務めなければなら

ず、選挙にもめつぼう強く、この点で連続8回当選も当然の成り行きとなった。

川尻氏は与党道8区のだ真ん中の存在できており、野党平出氏の8回当選とは訳も中身も違う。

この両氏ともに、次の2023年選挙では川尻氏77歳、平出氏74歳になる。さらに出馬し当選すれば実に9回連続当選となる。

次に与党自民党では佐々木俊雄氏が、前回は川尻氏の地盤に食い込む形で選挙に弱いを返

上した格好で2万票を突破し、4回目当選を果たした。しかし23年選挙時は72歳になる。

「佐々木氏は川尻氏が健康上体調が悪く、表に出られなければ一段と元気なところを見せている」と保守陣営関係者は笑いながら語る。昨10月の衆院選道8区の前田氏選対の中でもそうであった。

与党公明党の志賀谷隆氏はすでに前回で3回当選。次23年は70目の前の69歳で4選目指すことになる。

野党では立憲民主・高橋亨氏がいる。前回は65歳出馬で5回当選を果たし、23年は志賀谷氏と同じく69歳で6選を目指す。

現職の5人全員が次も出馬となると、川尻氏77歳、平出氏74歳、佐々木氏72歳、高橋、志賀谷両氏70前だが69歳、というわけで、高齢化が著しい函館市ならではの光景を示すことになる。

若ければいいというものもないが、それにしても凄い「高齢者選挙」、「老人クラブ選挙」のような道議選函館市が1年余後

に控えている。
◆ ◆ ◆
だが、昨今というかここにきて、与党自民党道議の「実力者」で、8期目に入ってから「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録（2021年7月登録決定）で先頭に立って大活躍し、これを成就させた川尻氏の9選出馬が疑問視されている。

理由は体調が思わしくない。地元自民党にとっては痛手だが、高齢でもあり、健康上の問題からまず9選出馬は難しいの



元気な頃の川尻秀之自民党道議。地元函館の「ど真ん中」にて今日に至っているのだから一。

季節会席・料理仕出し
四季海鮮 旬花

函館市五稜郭町43-9五稜郭タワー2階

電話：0138-30-6336

FAX：0138-30-6335

株式会社 サンフレッシュサービス

ではないかとの見方が支配的に
なっている。

そこで、もしも川尻氏今期が
限りで不出馬―勇退となれば、
後継はどうなるか。一説には川
尻道議の秘書を長くやつている
ことで知られる佐藤氏ではない
かと読む向きがある。

佐藤氏の父親はかつての尻岸
内町（現恵山町で函館市吸収合
併）の有名な議長だったといわ
れる。川尻氏の意向次第だが、
「後継候補になっても何ら不思

議ではない」（事情通）という
見立てもされている。

また川尻道議勇退の場合、函
館市議の自民党若手が名乗り出
るのではとの観測も以前から聞
かれ、本人も秘めたものがある
ようだともみられている。

野党の立憲民主党では次は74
歳になる北教組の平出陽子道議
の9選出馬云々がある。

前々回2015年の道議選
函館市では当時の民主党は平
出、高橋両現職に加え、函

館市議の見付宗弥氏を擁立し
た。見付氏は次点落選した
が、最下位当選の自民・佐々木
俊雄氏1万5774票に迫る
1万5044票を得票し、その
差730票の惜敗であった。

これにこりた平出、高橋両氏
は、次の前回2019年では3
人擁立は「無理」を強く主張し、
元の2人擁立に絞り、見付氏は
元の函館市議に戻った。平出、
高橋両氏は悠々再選する一方、
自民の佐々木氏まなじりの選挙

戦を展開、川尻氏の地盤も喰つ
て初の2万票を突破、2位当選
を果たした。

次回23年はどうなるか。
平出氏と高橋氏は「定席」の
ように再選を期そうと見る向き
が多いが、さて、いつまでも大
単産の上に乗って「わが世の春」
を決め込む、こんなことをやって
いると選挙民に？。

見付氏は現在52歳、23年は
53歳である。

若返り・世代交代進む道南の町長

〜年明け3月七飯町長選がおもしろい〜

38歳の前町議いち早く出馬表明、次いで58歳の前町民生部長、さらに 48歳の前町土木部長が立起へ／「活発」七飯町6回連続の町長選！

渡島管内では町長の世代交
代、若返りが進んでいる。

人口減、過疎化が加速し、衰
退する地方において、旧態依然
とした思考の年寄りはどう出る

幕ではないということか。この
際は若い世代に町政を委ねよう
といった流れが強まり、年明け

3月に町長の任期満了を迎える
管内最大の町、函館市の郊外、

隣接の七飯町でも、38歳の前町
議が出馬の意向を表明した。町

長選は3月22日告示、同27日投
開票。

出馬を明らかにしたのは前

町議の中川友規
氏（38歳）で、同
氏七飯町出身、
2011年の町議
選で初当選し、町
議3期目にあつた
が、町長選出馬に
向けて本格的な準
備のために11月1
日付けで辞職し
た。現中宮安一町

長が9月7日に議会で辞職表明
してから、中川氏は水面下で有
力関係先に出向き、出馬の意向
を示し、理解を求め、選挙まで
半年を切っていることから町議



七飯町役場

を辞職、活動を本格化させている。
町商工会青年部長、道商工会青年部連合会期重町などを歴任し、11年から道商工会理事を務める。町議会では議運委員長を務めた。

現町長の中宮氏は2006年4月、51歳で町都市建設課長から町長選に初出馬し、前道議の石寺広二氏を破って初当選。以

降、2回目は対抗馬の石田広紀氏、3、4回目は田村俊郎氏を連覇、4期16年になる。地区連合の推薦を受ける一方で、保守層の支持も得る格好で接戦もあったが、再選を果たしてきた。

中宮町長は現在67歳でそんなに高齢ではないが、「次は若い人がいい」などとして、勇退を決断した。

名乗り上げた中川氏は民間の出身(家業の七飯ガスナカガワに従事)で、町議を経験し、この上は「民間の視点、経験を生かしたい」としている。

中川氏に次いで、11月11日までに前町民生部長の杉原太氏(58歳)が出馬の意向を明らかにした。

杉原氏は函館市生まれの七飯町育ちということで、函館西高卒後、町役場に波入り、町教委生涯教育課長、政策推進課長を経て、18年から民生部長。今年9月末で町を退職した。「町政に携わってきた知識や経験を生かし、子どもから高齢者まで共生の街づくりを進めたい」としている。

加えて、前町土木課長の佐々

木陵二氏(48歳)が出馬の意向を固めた。

3氏の立候補で町長選は6回連続の選挙選になる見通し。無競争などになることなく、七飯町はなかなかどうして活発だ。

中川氏38歳、佐々木氏48歳、杉原氏58歳と10歳違いが並ぶ戦いは世代間選挙戦でもあり、興味津々、大いに注視される。

事実上の選挙戦はすでに始まっており、中安氏を推してきた地区連合などがどう動くかなども注目されている。

渡島ではこのところ町長の世代交代が続いている。選挙戦で若い人が挑戦し、現職らを退け、初当選してきている。

昨年4月の木古内町長選で、無所属新人の元町議、鈴木慎也氏(40)(年齢いずれも選挙当時)が、6選を目指した現職の大森伊佐緒氏(66)を破り、初当選したほか、昨年10月には森町における町長選で無所属新人41歳の岡嶋康輔氏が2期8年務めた現職の梶谷恵造氏(64)と新人で元町職員の佐々木陽市郎氏(63)と「いずれも無所属」を

破って初当選した。

これよりずっと先、渡島・松山の道南全体での町長の若返り、世代交代は松山の江差町で始まり、2014年の江差町長選で、新人で無所属の照井誉之介氏(29)、現職の浜谷一治氏(69)、新人で前町議の横山敬三氏(70)、新人で元町議の田畑豊利氏(58)の無所属4人が立候補し、道新記者出身の照井氏が4期目当選を目指していた現職・浜谷一治を447票差で破り初当選し、話題になった。照井氏(33)は次の18年では無競争で再選され、現在2期目にある。

早くも来年(2022年)8月には任期満了の町長選があり、定かではないが照井町長は3期目に臨むとみられる。

なお、22年7月には長万部町長もある。ここでは現町長の木幡正志氏が2014年に町議会議員から町長選に出て現職を破って初当選し、18年には無競争2期目当選を果たした。現在73歳で、若返り・世代交代の流れの中、3選出馬するかどうか注視されようか。

函館商工会議所 来秋改選期

久保俊幸会頭 去就注視へ 2期6年無難に務めるも



現在の函館商工会議所は副会頭1名欠員で、4人の正副会頭体制。左から村瀬、久保、境、中野各氏

3~4月力前「大手術」

続投云々に「黄色信号」

「会頭2期6年説」

副会頭の一人であった水島良治氏が社長を務めていた函館空港ビルディング（株）が、函館空港の上下一体運営で第3セクターを解散し、北海道エアポート（株）（HAP）の関連会社となり、社長を退任したことから、

ら会議所副会頭も辞任し、4副会頭の1人が欠けた。

補充するのが常で、まだ任期満了まで1年半もあったが後任に適当な手がいなく、この際は来年（22年）秋の改選期まで空席が打ち出され、今日に至っている。欠員できないのは異例で、この点が会議所を取り



久保俊幸会頭2期目当初の正副会頭5人と酒井専務理事
(一番左)。右は先般の衆院選道8区自民・前田一男候補の
選対本部長を担い、最終盤総決起大会であいさつする久保会頭



来秋久保俊幸会頭の去就注視へ

巻く現況、地元経済の状況などを物語っている。

現体制は久保俊幸会頭(函館環境衛生(株)会長、64歳)はじめ、副会頭に境勝則氏(株)トーションビルサービス社長)、村瀬充氏(株)村瀬鉄工所社長)、中野恒氏(五稜郭タワー(株)社長)の3人、事務方トップ・専務理事に酒井康次氏という布陣にある。

久保氏は、松本榮一会頭時代の平成23年(2011年)12月、副会頭に起用されて以来、副会頭を2期5年務め、同28年松本氏退任の後を受けて会頭に就任した。令和元年(2019年)再任となり、来秋で会頭2期6年に至る。

温厚な人柄で、自らを「総合

おかげ様で創立 55周年！ これからも地域と共に！



株式会社 青函設備工業

代表取締役 斎藤 秀司

本社 〒040-0043 函館市宝来町23番5号 TEL.0138-23-0444 FAX.0138-27-2944
支店 〒041-1354 亀田郡七飯町字人沼821 TEL.0138-67-2006 FAX.0138-67-2038

URL <http://www.k-seikan.co.jp/>

特集1／函館政界・経済界 新旧交代

調整型」と言い、強いリーダーシップを随所に見せ、活躍した松本前会頭（現名誉会頭）とは対照的に地味な持ち味のもと無難に運営してきている。

ところが、3、4カ月前に体調を崩し、東京の大病院で脳の手術を受けた。商工会議所関係者の話によると、幸い手術はうまく行き、体調は一応回復し、先般の衆院選道8区の前田一男自民党候補の選挙では選対

本部長就任の依頼を受け、会議所を中心に地元経済界上げての支援を展開した。前田候補のまたしても落選、小選挙区3連敗となったが、最後の総決起集会では選対を代表してあいさつするなど元気なところをみせた。

関係者からまだ血痕が少し残っているようだとの話もあるが、会頭職をこなしている。



先般の衆院選道8区で函館商工会議所（商工連盟）は久保会頭、境副会頭らが先頭に立って全力を上げた。

手術―復帰までのこの間、コロナ感染でほぼ全ての会議や集会など行事ができなくなっていたこともあって表向き会頭体調不振は分らずにきていた。

このようなことから、まだ先だが、来秋の議員改選期、この中での会頭任期満了に伴う次期会頭選びに関して、久保氏にとっては「黄色信号」が灯り、続投、会頭3選は難しいのではないかとの見方が水面下で憶測

する向きが出ている。

久保氏は来年秋で副会頭2期5年間、会頭2期6年間になる。世代交代下の人材難、なり手が乏しい中で、松本前会頭の指名を積極的に受ける形で、地域のその時々課題、最近では縄文遺跡群の世界遺産登録指定問題（登録実現）、会議所会員幅広のコロナワクチン接種など、市や関係団体と連携し、一生懸命に励んできている。あまり目立たないが、境筆頭副会頭や酒井専務理事が全面バックアップする中で静かに実直に取り組んできた。

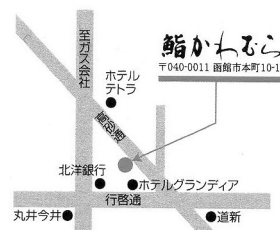
久保氏本人は来秋続投も視野に入っていたのではとも見る向きは少なく、それが思わぬ体調不良、大手術でどうなるか。見通し多分に危うくなっている。

そんな状況下、「会頭職は2期6年がいいのではない」との一般論が結構強く語られている。

来年は函館の経済界で次期会頭選び問題が浮上すること避けられない。

鯨かわむら 鼎
川村 康夫

〒040-0011 函館市本町10-13
電話 (0138) 35-3350
FAX (0138) 35-3350



■営業時間／午後5時～午前3時■